

**製品名: RAP1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab16892**

研究使用のみ

**概要**

|        |  |
|--------|--|
| 説明     | ウサギポリクローナル抗体                                       |
| 宿主     | うさぎ  |
| 応用     | WB,IHC   |
| 反応性    | ヒト、ラット、マウス   |
| 標識     | 非共役  |
| 修飾     | 未修正  |
| アイソタイプ | IgG  |
| クローン性  | ポリクローナル  |
| 形態     | 液体   |
| 濃度     | 1mg/ml   |
| 保存     | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。  |
| 輸送     | 氷袋   |
| バッファー  | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製     | アフィニティー精製  |

**応用**

|      |                                |
|------|--------------------------------|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300 |
| 分子量  | 55kDa                          |

**抗原情報**

|              |   |
|--------------|---|
| 遺伝子名         | TERF2IP<br>TERF2IP; DRIP5; RAP1; PP8000; Telomeric repeat-binding factor 2-interacting protein 1;   |
| 別名           | TERF2-interacting telomeric protein 1; TRF2-interacting telomeric protein 1; Dopamine receptor-interacting protein 5; Repressor/activator protein 1 homol |
| 遺伝子 ID       | 54386.0   |
| SwissProt ID | Q9NYB0  |
| 免疫原          | 抗血清はヒト RAP1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 203-252  |

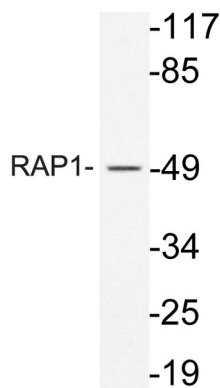
**背景**

この遺伝子は、テロメア長の調節に関与する複合体を構成するタンパク質をコードしています。擬似遺伝子は 5 番染色体と 22 番染色体上にあります。[RefSeq 提供、2010 年 4 月]機能: テロメア長の調節に関与している可能性があります。テロメア長の調節と保護に関与するシェルタリン複合体 (テロソーム) の構成要素です。シェルタリンは、テロメラーゼによって付加される二本鎖 TTAGGG リピートの配列と結合し、染色体末端を保護します。シェルタリンの保護活性が失われると、テロメアは DNA 損傷監視から保護されなくなり、染色体末端は DNA 修復経路によって不適切に処理されます。、その他: TRF2 によってテロメアにリクルートされます。DNA 自体に直接結合することはないと思われる。、PTM: DNA 損傷時にリン酸化される。おそらく ATM または ATR によるものと思われる。、配列注意: グルタミン酸として翻訳される。、類似性: BRCT ドメインを 1 つ含む。、類似性: Myb 様ドメインを 1 つ含む。、細胞内局在: 間期および中期細胞においてテロメア DNA と共局在する。、サブユニット: ホモ二量体。TERF1、TERF2、TINF2、TERF2IP ACD、および POT1 からなるシェルターリン複合体 (テロソーム) の構成要素。C 末端で TRF2 に結合するが、TRF1 には結合しない。、組織特異性: 遍在性。高発現。、

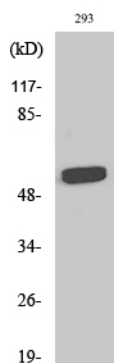
## 研究分野

B 細胞抗原; 接着結合部

## 画像データ



RAP1 抗体を使用した 293 細胞の溶解液のウェスタンブロット分析。



RAP1 ポリクローナル抗体を 1: 500 に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット分析した。